

2024年1月31日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、消費関連が回復している。一方、雇用情勢は横ばい、観光関連、投資関連が弱含み、生産活動が低調、畜産関連が低迷している。足元では、コロナ5類引き下げによる社会経済活動が再開し、全体として回復傾向が続いているものの、物価上昇や電子部品関連の在庫調整の影響が見られる。

生産活動は、10月の鉱工業生産指数が16か月連続で前年を下回った。食料品は前年を上回ったが、窯業・土石製品、電子部品・デバイス、電気・情報通信機械は前年を下回った。

畜産関連では、12月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A4、去勢A3ともに前年を上回った。一方、豚肉、ブロイラーもも肉、むね肉、鶏卵相場はいずれも前年を下回った。

個人消費関連は、11月の家電大型専門店販売額は前年を下回ったものの、11月のコンビニエンスストア販売額は前年をやや上回り、11月のドラッグストア販売額、12月の乗用車新車登録台数、軽自動車届出台数は前年を上回った。

観光関連では、12月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、12か月ぶりに前年を下回り、種子島・屋久島地区は2か月連続で前年を下回り、奄美地区は3か月連続で前年を下回った。主要観光施設入場者数は、前年を下回る調査対象施設が多くみられた。

投資関連では、公共工事請負金額、新設住宅着工戸数は前年を上回ったものの、民間建築工事費予定額は前年を下回った。

雇用情勢は、11月の有効求人倍率は前月から横ばいの1.19倍となった。

【生産活動】... 低調

電子部品関連は、5G関連の勢いに鈍化が見られ、スマホ向けなど一部で在庫調整の動きが続いている。

11月の焼酎生産は、2か月連続で前年を上回り、出荷量は2か月ぶりに前年を下回った。

10月のかつお節生産は、13か月ぶりに前年を下回った。

12月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが4か月連続で前年を上回り、民間工事向けは3か月連続で前年を下回り、全体では前年並みとなった。

12月の紙パルプ生産は、3か月ぶりに前年を上回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を下回った。

【畜産関連】... 低迷

12月の子牛の出荷頭数は前年を上回り、価格は前年を下回った。12月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A4が1.5%増と14か月ぶりに前年を上回り、去勢A3は3.0%増と16か月ぶりに前年を上回った。11月の枝肉生産量は前年を上回った。

12月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は2.5%減と3か月連続で前年を下回った。11月の枝肉生産量は前年を上回った。

12月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉は9.0%減と4か月連続で前年を下回り、むね肉は6.7%減と2か月連続で前年を下回った。12月の処理羽数は前年をやや下回った。

12月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は13.0%減と2か月連続で前年を下回った。11月の配合飼料価格は5か月連続で前年を下回った。

【消費関連】... 回復

11月の百貨店・スーパー販売は、飲食料品は前年をやや上回り、衣料品が前年を上回り、全体では2か月ぶりに前年を上回った。

11月の専門量販店販売額は、家電大型専門店は前年を下回ったものの、コンビニエンスストアは前年をやや上回り、ドラッグストアは前年を上回った。

12月の乗用車新車登録台数は、12か月連続で前年を上回った。車種別にみると、普通車は25.3%増、小型車が1.3%増となった。

12月の軽自動車届出台数は5か月ぶりに前年を下回った。

【観光関連】... 弱含み

12月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、12か月ぶりに前年を下回った。九州、関東、中部、関西などからの入り込みや個人客、団体客ともに減少した。

鹿児島地区は、九州、関東、関西、中部などからの入り込みや個人客、団体客ともに減少し、17か月ぶりに前年を下回った。

霧島地区は、九州、関東、関西などからの入り込みや個人客、団体客ともに減少し、2か月連続で前年を下回った。

指宿地区は、九州、関東、中部などからの入り込みや個人客、団体客ともに減少し、2か月連続で前年を下回った。

種子島・屋久島地区は2か月連続で前年を下回り、奄美地区は3か月連続で前年を下回った。

12月の主要観光施設入場者数は、前年を下回る調査対象施設が多くみられた。

【投資関連】... 弱含み

12月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を上回った。

11月の民間建築工事着工は、棟数、床面積、工事費予定額のいずれも前年を下回った。

11月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲が前年を下回ったものの、給与が前年を上回り、全体では4か月ぶりに前年を上回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は前年を下回り、5.5%減となった。

12月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、2か月連続で前年を上回った。

【貿易関連】... 輸出額、輸入額ともに前年を上回った

11月の輸出額は、パルプ及び古紙、木材が前年を下回ったものの、ゴムタイヤ及びチューブ、食料品及び動物が前年を上回り、全体では23.3%増と2か月連続で前年を上回った。輸入額は、穀物及び同調製品が前年を下回ったものの、原油及び粗油が前年を上回り、全体で4.1%増と6か月ぶりに前年を上回った。

【雇用情勢】 ... 横ばい

11月の有効求人倍率は前月から横ばいの1.19倍となった。県内求人数を業種別にみると、医療・福祉は前年を上回り、製造業、建設業、卸小売は前年を下回った。

【金融情勢】 ... 貸出金残高は前年を上回った

10月の県内金融機関の貸出金残高は前年を0.9%上回った。

【企業倒産】 ... 倒産件数は前年を上回った

12月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が10件で前年同月（5件）を上回った。また負債総額は6億79百万円で前年同月（4億20百万円）を上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (TEL 099-225-7491)